

絵は心の恋人探し その2

「裸女」長谷川利行 作



長谷川 利行 (はせがわ としゆき 1891～1940) 明治24年京都府で生まれる。昭和初期を代表する異端の天才画家で、昭和2年二科構牛賞を受賞。この頃から終生住みついた下町の底辺を描き続ける。生活は困窮を極め、飲酒にふけり、場末の木賃宿を転々とする。昭和14年、胃を病み、翌15年10月12日、板橋養育院で孤独のうちに49歳で死去する。

昭和40年(1965)頃、I氏宅でこの絵と出会った。I氏は私に洲之内徹(現代画廊主)を紹介してくれた人で、定年後、半プロの目利きで絵を右から左へ動かして老後を楽しんでいるように思えた。I氏曰く、「現代画廊の洲之内さんから良い絵をわけてもらうにはコツがある。」と。「年末になると、洲之内さんは支払いが溜まっていて年の瀬を越す資金がいるため、売らないと言っていた絵も売ってくれるんだよ。この利行も『売らない、売らない』と言っていたが、年末にやっと手に入れたんですよ」と言っ

に告げると、私の持っている坂本繁二郎の馬の水彩画と交換ではどうかという返事であった。当時、坂本は文化勲章を受けた寡作の画家で愛好家が多く、水彩画でも高額で取引される作品だった。長谷川の絵にプラスアルファの金をつけて譲っていただいたのです。私(うれしさのあまり、絵の裏板に利行の「こころの歌を つぶやき」歩めばかなし 浅草の雨)の即興歌を記しました。藝林時代、この絵が欲しいというコレクターが多かったのですが、利行は一点しか持たないので、この絵に勝る絵が手に入ったらお譲りします。ということから断り続け、絵画館に寄贈することになった作品です。 文・梅野 隆 館長

とうふみ

平成16年 7月1日発行

編集発行/東御市総務部企画課情報統計係 〒389-0592 長野県東御市東281-2 TEL 0263(54)5300 FAX 0263(54)5301 E-mail shiho-tomi@city.tomi.nagano.jp ●東御市ホームページ http://www.city.tomi.nagano.jp/ ●印刷/東鉄印刷株式会社

人の動き

(6月1日現在) 世帯数 10,916世帯(+19) 総人口 32,178人(+4) 男 15,846人(+6) 女 16,332人(-2) 転入 93人(-84) 転出 91人(-58) 出生 34人(+13) 死亡 32人(+7) ※カッコは5月対比

編集後記

▼「漢字が思い出せない……」取材中にたびたび思う瞬間があります。皆さんにもこうした経験はありませんか?取材時なのでとりえずひらがなで書いておきますが、まとめる時に、思い出すことが多いですね。▼最近では仕事、日記、手紙とありとあらゆるところでパソコンや携帯などを使って文字にすることが多くなっています。だから手書きは取材以外ではめ

きり減っています。読むことはできても、いざ書くときに(……)。▼昔は分からなければ辞書を引いて覚えようとはしました。今はパソコンで打てば簡単に交換してくれます。それに甘んじていることが多いような気がします。どんな漢字を忘れ、字が汚くなってしまう。そんな危惧を覚えたりもします。「字でその人の性格(様子や気持ち)が分かる。」とよく言いますよね。文字を書くことの大切さを痛感する日々です。(市報担当 柳橋)

おらほ簡単クッキング 2

向夏に最適のデザート 西瓜とココナッツのデザート



旬の果物を使ってみてください (写真左:メロン、写真右:オレンジ)

- 1 A: 寒天を煮溶かし、砂糖を加え粗熱をとる
2 B: ココナッツパウダーに牛乳を少しづつ加えよく溶かし火にかけて粗熱を取る
3 ①と②を合わせ、器に盛り冷蔵庫で冷やす
4 Cの寒天を煮とかし、西瓜のピュレを混ぜる
5 固まった③の上に④を静かに流し、冷蔵庫で冷やす

Table with ingredients: A 寒天粉末 2g, 水 200cc, 砂糖 70g; B 牛乳 300cc, ココナッツパウダー 40g; C 寒天 2g, 水 50cc, 西瓜のピュレ 300cc

提案者: 宮尾弘子 (みやお ひろこ)さん(常田)

